

集中改革プラン進捗状況報告書の記載の見直しについて

1 見直し内容

令和8年度第1回射水市行財政改革推進会議（5月25日開催）での委員の意見（※）を踏まえ次回（令和9年6月公表）の集中改革プラン令和8年度改訂版進捗状況報告書から、進捗状況が「完了」となった取組について、取組個票に「取組により得られた効果」の欄を設ける。

※委員意見

委員意見（概要）	意見を踏まえた対応（案）
取組個票の「狙う効果」の項目と取組の完了によって得られた効果が同一視されているのは適切ではない。 「狙う効果」の項目を、完了により得られた効果として見るには抽象度が高すぎるため、もう少し抽象度を下げた具体的な記述が必要である。	取組個票に「取組により得られた効果」の欄を設ける。
地域の安全・安心は市民の関心が高い内容であるので、「狙う効果」の項目に「安全・安心の確保」を追加してはどうか。	新たに設ける「取組により得られた効果」の欄は、「狙う効果」にチェックをつけた項目のみならず、個表の「現状と課題」の解決に向けた状況や「あるべき姿（目指す姿）」の実現に向けてどのような進捗につながったかについて記述する。 このことから、あるべき姿（目指す姿）や現状と課題が安全・安心の確保に関連する取組において、委員の意見を反映することができる。

2 見直し後の取組個票の記載例（案）

番号	9	取組名	中学校の休日部活動の地域展開の推進		所属名	学校教育課、生涯学習・スポーツ課	進捗状況	完了
あるべき姿（目指す姿）	中学校の休日部活動については、地域の運営団体・実施主体による地域クラブへ移行し、生徒の活動機会の確保と教職員の負担軽減が図られている。							
現状と課題	中学校の部活動は、生徒の減少により大会参加や活動機会が少なくなる傾向にある。また、教職員の部活動指導が、指導経験のない教職員の負担増や長時間労働の要因となっている。そのため、生徒の活動機会を確保するとともに、教職員の負担減を図る必要がある。							
課題解決に向けた取組	中学校の休日部活動を地域の運営団体・実施主体のクラブへ移行する。							
数値目標	項目名	単位	当初(R4)	実績(R7)	目標値(R9)	達成率(R7)		
	地域展開を実施する中学校部活動の部活動数	部活動数	3	16	16	100.0%		
取組スケジュール		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
休日部活動の地域展開		段階的な地域展開（済）			すべての部活動を地域展開（済）			
取組状況	令和7年度から新たに7部活動（バドミントン・ヨット・陸上競技・体操・軟式野球・サッカー・吹奏楽）の地域展開を実施し、休日の活動については、すべての部活動で地域展開が実現した。							
今後の取組				狙う効果				
学校部活動にもあった既存種目を継続的に活動できる環境を整え、るとともに、部活動にはなかった新たな活動を行えるクラブをつくるなど、令和13年度末までにすべての部活動の平日の活動も含めた地域展開を進める。				☐ 経費の節減 ☐ 地域の活性化・魅力向上 ☐ 費用対効果の向上 ☐ 財政・経営の健全化 ☐ 事務効率の向上 ☐ 透明性の確保・市民への説明責任 ☒ 業務量の低減 ☐ 市民協働の推進 ☒ サービスの向上 ☒ 公平性・公正性の確保 ☐ 職員の能力・組織力の向上				
取組により得られた効果	中学校の休日部活動を地域クラブへ移行することで、生徒が希望するスポーツ・文化芸術活動について専門的な指導を受けることができる環境を整備することができた。一方で、教職員の指導負担が軽減され、長時間労働の抑制に寄与した。							

「取組により得られた効果」

- ・「あるべき姿（目指す姿）」の実現に向けた進捗状況
- ・「現状と課題」の解決に向けた状況
- ・「狙う効果」のチェック項目に関する達成効果